

# 文化の丘

平成 31 年春号  
(ISSN 1345-2282)

No.361

- 1 平成 30 年度第 26 回静岡県図書館大会
- 2 図書館大会の分科会
- 3 お知らせ  
昔へいざない  
こんにちは 館長です
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

## 特集 平成 30 年度第 26 回静岡県図書館大会



photo by Yamazaki

# 図書館の大会？

午前中のプログラム

## 図書館大会を御存じですか？

静岡県教育委員会、静岡県図書館協会、静岡県読書推進運動協議会が主催する平成 30 年度第 26 回静岡県図書館大会が 11 月 19 日、静岡市のグランシップで開かれました。

図書館大会とは、図書館や読書に興味を持つ方が読書活動の一層の推進を目指して研修、交流するイベントです。

午前中には、表彰式、公共図書館に関する情勢報告、対談が行われ、午後には 6 つのテーマに分かれた分科会が行われました。

このイベントには県内から多くの図書館職員や読書活動の関係者が参加しますが、一般の方も参加することが可能です。来年度以降も秋に開催する予定です。これまで参加したことがない方もぜひご参加ください。図書館をもっと身近に感じることができるようになることでしょう。今回の文化の丘では、第 26 回静岡県図書館大会の内容を紹介します。

### 表彰・情勢報告

「読書県しずおかづくり」優秀実践校、団体の表彰が行われました。また、公共図書館に関する情勢報告が行われました。

### 対談

#### 「地方自治に対する、図書館を核とした政策提言」

北川正恭氏（早稲田大学名誉教授 元三重県知事）と糸賀雅児氏（慶應義塾大学名誉教授）に、これからの地方自治において、図書館が地域住民に必要とされる機関となるためにはどうあるべきかについて議論し、提言していただきました。

「図書館は首長部局か教育委員会か」の所管問題についてお二人の経験に基づいたお話をしていただき、図書館だけでなく地域で社会教育施設について考える必要があることを改めて学びました。

第1分科会

図書館サービス

「大切な本、直しませんか？  
～達人に聞く本の修理と手当～」

講師 眞野 節雄 氏  
(日本図書館協会資料保存委員会委員長)

資料保全専門員とし、東北の津波で被災・水濡れした貴重な郷土資料を修復・救済したことのある眞野氏が、すぐに使える基本的な修理方法のほか、修理の理念や保存する目的について、実演を交えながらお話してくださいました。参加者からは「興味深い話を聞き、非常に参考になった」、「普段誤った修理をしていたので、方法を改めたい」といった前向きな感想がありました。

第3分科会

子どもの読書活動

「しあわせを伝える絵本  
～『くまのがっこう』にこめた思い～」

講師 あいはら ひろゆき 氏 (絵本作家)

「くまのがっこうシリーズ」の原作者、あいはらひろゆき氏に絵本に込めた思いを語っていただきました。

ご自身の子育て中に絵本と出会ったというあいはら氏。「こういう世界で生きてほしい」という子どもへの思いから「くまのがっこう」を創作しているそうです。絵本には、子どもに理想の社会、理想の人間を味わわせ、幸せを子どもの中いっぱいにつめ込む力があるということを教えてくださいました。



参加者からは、「絵本が持つチカラを改めて感じました。」、「子どもを思うあたたかい気持ちが伝わりました。」といった感想がありました。

第5分科会

学校図書館

「情報センターとしての学校図書館  
～情報検索の「道しるべ」パスファインダーの基礎を学ぼう～」

講師 神澤 登美子 氏  
(荒川区学校図書館支援室学校図書館スーパーバイザー)

大勢の児童・生徒に対して一度に資料提供しなくてはならない学校図書館にとって、パスファインダーは必須のツールです。また、子どもたちが主体的に情報検索する力を育てていくための「道しるべ」でもあります。講師の神澤氏からパスファインダーの3つの役割についてお話しいただいた後、参加者はワークショップを通してパスファインダー作成について理解を深めました。

第2分科会

図書館サービス

「いま、図書館に求められる高齢者サービスを考える  
～地域社会の結びつきとその実践～」

講師 呑海 沙織 氏 (筑波大学図書館情報メディア系教授)  
講師 鈴木 崇文 氏 (名古屋山田図書館奉仕係長)

講師の呑海氏は、超高齢社会における図書館サービスの担い手に着目したお話をしてくださいました。図書館がサービスを提供するだけでなく、利用者がサービスの担い手として参加することも新しい価値の創出や生きがいづくりにつながるという新たな視点を示してくださいました。



講師の鈴木氏は、参加者同士と一緒に声を出さず音読により、高齢者が孤独から解放され、明るく元気になったとお話をしてくださいました。

第4分科会

幼児・児童に対するサービス

「絵本の記憶、子どもの気持ち  
～大学生のレポートより～」

講師 山口 雅子 氏  
(元学習院女子大学非常勤講師)

子どもたちは、絵本をどのように楽しんでいるのか、大人が忘れてしまった「子どもと絵本の関係」を探るべく、講師の山口氏は女子大生から5年にわたってレポートを集め研究しました。この分科会では、講師が学生たちの記憶から教わった「大人と子どもでは、絵本の読み方や楽しみ方が違う」という点についてお話しいただきました。参加者からは、「絵本を見る子どもの目線を大切にしたい」といった意欲的な声が聞かれました。

第6分科会

大学図書館

「これからの大学図書館に  
期待される研究支援」

講師 尾城 孝一 氏  
(国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任研究員)

オープンサイエンス推進と研究不正の防止を背景とし、近年、研究データ管理が求められるようになってきました。講師の尾城氏は英・欧州・米での事例と日本の現状を踏まえ、データ管理実現に向けた4つの課題と最初に着手すべき点について説明してくださいました。また、研究データを社会に利活用されるデータに転換するために、大学図書館が今後果たしていく役割の大きさについて強調されました。

## お知らせ

静岡県立中央図書館

# 全てのサービス再開について

当館資料棟2階閲覧室床（1階書庫の天井部）にひび割れが認められたことから、調査や工事等安全対策のため、平成29年7月4日以降、長期に渡り、サービスを制限させていただきました。

利用者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

安全対策終了に伴い、このたび、平成31年3月14日より全てのサービスを再開することとなりました。閲覧室も以前と同様にご利用いただけます。

職員一同、よりいっそう充実したサービスを提供できるよう努めて参ります。

## 県立中央図書館 開館インフォメーション

	本館	えほんのひろば
開館時間	月、火、土、日、休日 午前9時～午後5時	午前9時30分 午後6時
	水、木、金（休日以外） 午前9時～午後7時	
休館日	3月1～13、18、29日	3月5、6、21日
	4月1、2、15、26日	4月1、16、17、29、30日
	5月7、20、31日	5月1、2、7、22、23日

※ 閲覧室再開準備のため、2月25日から3月13日まで臨時休館させていただきます。3月14日（木）、9時から開館いたします。（閲覧室も入室できるようになります。）

いんしえ 歴史文化情報センター

## 昔へ いざない

## 静岡御用邸

来る4月30日に天皇陛下が退位され、翌5月1日に皇太子殿下が新たな天皇として即位されます。それに伴って「平成最後」という言葉が使われるようになり、時代の移り変わりを一層感じるようになりました。新しい元号への関心が高まっていますが、元号に関しては『文化の丘 平成30年春号 No.357』で紹介済みのため、今回は天皇・皇后両陛下の宿泊所である静岡御用邸跡を紹介します。

静岡御用邸は1900（明治33）年4月に落成し1930（昭和5年）12月に廃止となるまでの約30年の間に、明治・大正・昭和天皇が宿泊されました。1902（明治35）年

11月の大阪行幸の帰途に際して利用され、その後も明治天皇は度々御用邸で宿泊され、御用邸の二階から富士山を眺めて歌を詠まれたこともあり。廃止となってからは「名所」として大切に保管されたが、1945（昭和20）年6月の空襲により焼失しました。

静岡御用邸跡には静岡市役所静岡庁舎（葵区役所）が建てられていますので、一度足を運んでみてください。また当時の御用邸の様子は、静岡県立中央図書館HPの「ふじのくにアーカイブ」で見ることが可能です。「静岡御用邸」で検索してください。時代の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。



写真：静岡御用邸跡  
（静岡市役所静岡庁舎前）

静岡県立中央図書館 歴史文化情報センター 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7階  
電話 054(221)8228 FAX 054(255)3988 メール rekibun02@tosyokan.pref.shizuoka.jp

## こんにちは 館長です

早春の穏やかな陽の光に、谷田山の本館へとつながる坂道の桜並木のつぼみも膨らみ、待ちわびた桜花爛漫の季節は、もうすぐ目の前に来ています。

昨年4月に県立中央図書館に赴任して1年が経とうとしています。一昨年に確認された床のひび割れにより、入室できなくなっておりました閲覧室が、この3月、修復工事も終了し、安全が確認され、県民の皆さまにやっと利用していただける状態に戻りました。1年8か月ほどの間、御不便をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。図書館としての全ての機能が再開すること、とりわけメインステージとも言える閲覧室が稼働し、来館者の皆さまに御利用していただく姿を目にすることができますことを、率直にうれしく思います。なお、資料の荷重超過がひび割れの要因の一つと考えられたことを踏まえ、開架される資料は、以前の半分ほどのボリュームになります。御理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

また、県立図書館の役割として、県域全体を視野に入れたサービスの一層の充実に取り組み、遠方のため来館できない県民の皆さまへの資料貸出やデジタル化の推進なども、市町立図書館等とも連携を密にしなが、いままで以上に力を入れていく所存です。

同時並行で動いております、東静岡駅南口県有地「文化力の拠点」施設への全館移転のための新県立中央図書館基本計画（パブリックコメント案）に対しましては、県民の皆さまから様々な建設的な御意見・御要望をいただくことができました。感謝申し上げます。従来からの機能の充実とともに、あらたに「県民が出会い交わり、新しい文化を育む図書館」を目指すことについても、皆様の期待と関心の高さに、職員一同、気持ちの引き締まる思いです。

新館には、もう少し時間がかかるとは思いますが、現在のサービスを改善工夫しながら、新しい時代の図書館につなげる努力を一步一步続けて参ります。



2018.7.26 富士市立中央図書館



2018.3.8 東伊豆町立図書館



2018.6.7 御殿場市立図書館



2018.5.30 森町立図書館



2018.5.24 伊豆の国市立中央図書館



2018.5.25 富士市立東図書館



2018.6.7 長泉町民図書館



2018.2.22 袋井市立袋井図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。